

# 藤平 伸

— やきものの詩人、茶陶に遊ぶ —

S h i n F U J I H I R A

平成30年3月10日(土)~5月6日(日)



開館時間 午前9時~午後5時(入館は4時30分まで)  
休館日 毎週月曜日(但し4月2日・9日・30日は開館)  
5月1日(火)  
観覧料 一般500円(団体400円)・学生400円(団体320円)  
高校生以下無料 ※20名様以上団体 2割引

## 八幡市立松花堂美術館

〒614-8077 京都府八幡市八幡女郎花43-1

お問い合わせ先 TEL.075-981-0010/FAX.075-981-0009  
<http://www.yawata-bunka.jp>

主催/八幡市立松花堂庭園・美術館(公益財団法人やわた市民文化事業団)  
協力/茶道資料館

後援/京都府、京都府教育委員会、公益社団法人京都府観光連盟、一般社団法人八幡市観光協会、  
八幡市文化協会、歴史街道推進協議会、京都新聞、朝日新聞京都総局、読売新聞京都総局、  
毎日新聞京都支局、産経新聞社京都総局、NHK京都放送局、KBS京都、エフエム京都、  
京阪ホールディングス株式会社、京阪電気鉄道株式会社、京阪バス株式会社



① 灰釉茶碗



② 白釉香合・呉須香合・辰砂香合



③ 四童香合

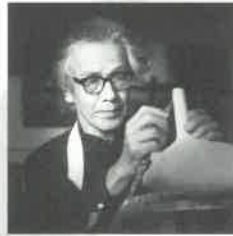


④ 辰砂香合

やきものの詩人、茶陶に遊ぶ

SHIN FUJIHIRA

藤平伸



1922年、藤平製陶所に生まれる。1940年、京都高等工芸学校(現・京都工芸繊維大学)入学、病氣のため中退。1952年頃より藤平窯業有限会社内で作陶を始める。1953年、日展に初出品して入選。以後、国内外の展覧会に出品、多数受賞。1962年、初の個展開催。以後、晩年まで個展多数開催。1992年、京都新聞に連載。京都市立芸術大学名誉教授。日本陶磁協会賞、京都府文化賞功労賞ほか受賞、京都市文化功労者。2012年、逝去。



⑤ 呉須花器



⑥ 辰砂水滴



⑦ 呉須手鉢



⑧ 香爐 宝塔

すべて 藤平伸作  
 ①-⑦茶道資料館蔵  
 ⑧個人蔵(写真提供: 菊池寛実記念 智美術館/撮影: 田中俊司)

平成30年  
 3月10日(土)~5月6日(日)

藤平伸は五条坂(京都市東山区)の製陶所に生まれ、30歳頃より作家活動を始め、生涯同地を拠点に活躍しました。作風は徐々に変化しますが、全体に軽やかで詩情豊かな作品が多く、自由で斬新な造形ながら温雅な趣をたたえます。その作陶は国内外で高く評価され、日本陶磁協会賞をはじめ数多く受賞し、京都市立芸術大学教授も務めました。

このたびの展覧会では、平成5年に茶道資料館で開催された展覧会「藤平伸―茶陶に遊ぶ―」に際し初めて挑んだ茶陶を中心に、藤平伸の作陶をご紹介します。後期に多く作られた陶彫や、作陶にも通じる書画などもあわせて展覧します。

現代日本を代表する京都の陶芸家・藤平伸の世界をどうぞお楽しみください。

学芸員によるみどころ解説  
 平成30年 3月17日(土)、4月7日(土)・21日(土)、5月5日(土・祝)  
 各日午後2時より展示室にて ※申込不要(観覧料が必要です)

**[松花堂庭園(国指定史跡・名勝)]**  
 ■開園 午前9時~午後5時(入園は4時30分まで)  
 ■休園 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日)  
 ■料金 一般400円 学生300円 こども200円  
 (20名様以上団体2割引)  
 ●ボランティアガイドによる庭園案内/無料(要予約)  
 日曜茶席 3月~5月 毎日曜日



第30回 松花堂つばき展 3月30日(金)・31日(土)、4月1日(日)  
 ※期間中 入園料600円【春季展との共通券 一般1000円】

**[京都 吉兆 松花堂店]**  
 「吉兆」の創業者・湯木貞一が、松花堂昭乗の「四つ切塗箱」をヒントに生み出した「松花堂弁当」。地元の野菜、季節の鮮魚で彩られた「松花堂弁当」を、昭乗ゆかりの地では是非ご賞味下さい。  
 ※ご予約は吉兆松花堂店(075-971-3311)まで



**[交通のご案内]**  
 ●京都駅から近鉄電車「丹波橋」駅より京阪電車乗換え(大阪方面)→「八幡市」駅または「樟葉」駅から京阪バス乗り換え→「大芝・松花堂前」下車すぐ  
 ●JR学研都市線「松井山手」駅から京阪バス乗り換え→「大芝・松花堂前」下車すぐ

**八幡市立松花堂美術館**  
 〒614-8077 京都府八幡市八幡女郎花43-1  
 お問い合わせ先 TEL.075-981-0010/FAX.075-981-0009  
<http://www.yawata-bunka.jp>